

ホールに響く澄んだハーモニー 少年少女合唱団第2回定期演奏会



3月23日あゆ一むで白鷹町少年少女合唱団第2回定期演奏会が行われました。客席は満席。保護者ら大勢の観客が見守る中で日頃の練習の成果を発揮し、見事な歌声と、「ひよっこりひょうたん島」をミュージカル風に踊ったり、全10曲を披露しました。今回は長井高校の音楽部も参加してくださいました。合唱団は平成20年に発足し、3月23日現在31人で活動しています。

始めるのは「今」 認知症予防講演会



3月15日、認知症予防講演会が開催され。昨年完成した認知症啓発紙芝居「ほだけがらあ？じいちゃんのいきいき一人暮らし」の上演と公立置賜長井病院精神科課長佐野琢也氏による「今日から始める認知症予防」の講演会が行われました。認知症の約半数を占めるアルツハイマー型認知症は努力により危険を減らすことができ、そのために「運動、栄養、昼寝」が大事とのことでした。

笑う門には福来る 世界で唯一のミュージカル落語



3月17日、あゆ一むで白鷹学講座パート5「ピンチをチャンスに変える笑いのポジティブシンキング」が行われました。三遊亭重郎さんによる、演目「一口弁当」はイジメ問題、「ありがとうが世界を変える絆39」は地域のふれあいの希薄化など、社会的な問題を題材にしており、ピンチは笑いやポジティブな考えで変えていこうという重郎さんのメッセージが込められていました。

リズムによって ダンスワークショップ



3月24日、ダンスワークショップが開催されました。この事業はしらたか夢未来発掘事業の採択事業で、よさこい白鷹櫻鷹會の主催で行われました。講師に、国内外で活躍する「PADMA (パドマ)」(代表齋藤知幸氏)のメンバー8人を迎え、参加者約60人がヒップホップダンスに挑戦しました。徐々にテンポもレベルも上がっていくダンスに参加者は、苦戦しながらも気持ちのよい汗を流しました。

しらたか夢未来発掘事業 事業実施報告会

3月21日、あゆ一むで平成24年度に採択された3グループ、平成23年度から継続している2グループによる24年度の事業報告会が行われました。それぞれの取り組みの先進地といわれる他市町のグループへの視察研修、開催したイベントなどの成果や課題が話し合われました。今年度事業を行った5グループは◎しらたか若者コミュニケーションネットワーク◎しらたか応援団(仮)◎ホワイトイーグルス◎よさこい白鷹櫻鷹會◎恋の種まき桜実行委員会です。



今後、広報しらたかにおいても取り組みを詳しく紹介していきます。